

4. 未来型児童館整備基本構想策定状況について

令和3年度までの検討結果（未来型児童館の方向性）

未来型児童館の定義

- 現在活動中の既存施設の総合的な連絡調整や総合支援を担うセンター機能型児童館と想定。
- 児童館には児童厚生員を配置する。
- 土日は開館する。

未来型児童館が担う機能（案）

- 各種相談機能（発達支援、療育相談、子育て相談、家庭相談、経済相談 リモート相談、子ども電話相談）
- 不登校適応教室・引きこもり支援
- 子ども食堂・フードバンク
- 外国人支援・学習支援
- 仕事体験・農業体験

整備場所

- 第1案 健康福社会館
- 第2案 玉丘施設公園

加西市の子育てに関する課題

中学生・高校生の居場所不足

- 中学生・高校生の放課後や休日の居場所が不足している。
- 屋内・屋外を問わず、子どもたちが関心を持っていること、やりたい活動ができる場等が不足している。

相談窓口の分散・不足

- 子育てに関する相談窓口等の機能が健康福祉会館、市役所などに分散しており、利便性が低く、わかりにくい。
- 休日に相談窓口を利用できない。

特色ある教育の実施場所不足

- 学校だけでは対応できない STEAM 教育や多様性・個性ある教育を先導する体験教育の場が不足している。